



CHANDLER™
LIMITED



TG1

Compressor/Limiter

取扱説明書



www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

TG シリーズについて

Chandler Limited の TG シリーズは、あの EMI/ABBEY ROAD STUDIO で使用されていた EMI TG コンソールを厳選された St.Ives トランスや Elma のステップゲイン・コントローラーなどの英国産オリジナルパーツによって忠実に再現しています。

オリジナル TG コンソールは EMI Research Laboratories により開発され、1967 年に完成した TG コンソールの MK I バージョンは、ロンドンの ABBEY ROAD スタジオに設置されました。真空管タイプの 10 インプット/4 バス・ミキサーに代わって、この優れた 24 トラック/8 バス・ミキサーはソリッド・ステート・デザインとして始めて ABBEY ROAD スタジオに導入されたミキサーとなりました。各チャンネル毎に LIMITER/COMPRESSOR が搭載され、全てのインプット/アウトプットはトランス・バランス、ステップゲインによる高音質、優れた機能と音質は EMI/ABBEY ROAD の作品の音質を大きく向上させました。その後この優れたコンソールはヨーロッパ各地、アメリカなどに設置されましたが、EMI による完全限定生産であった為、台数が少なくまさに希少価値の幻の銘器となりました。その後 TG コンソールはバージョンを MK II、III と進化し、現在でもその素晴らしいサウンドを様々な CD の中で聞くことができます。

1960 年代後半から 1970 年代、あの『ABBEY ROAD』などのビートルズ後期作品～各メンバーのソロワークス、ピンクフロイドの『狂気』、ローリングストーンズの『SOME GIRLS』その他数々のプリティッシュ・サウンドの名盤に刻まれた愛すべき、温かいアナログの質感は TG コンソールにしか成し得なかった永遠のサウンドと断言できます。また現在のミュージック・シーンにおいても、OASIS、MANIC STREET PREACHERS、TEXAS、TRAVIS、TINA TURNER などのアルバムでその色あせない究極のアナログ・サウンドを聴くことができます。また 1990 年代に発売された BEATLES の『Anthology』シリーズのリマスタリング作業には、ABBEY ROAD スタジオのジェフ・ジャレット所有のオリジナル TG1 コンソールが使用されています。



TG1 について

THE BEATLES 後期作品で聞かれる温かく、オープンなリミッターサウンド。670 でも 1176 でも無い TG だけのサウンドは幅広く、色彩豊かな音創りに貢献します。

程よい 3 次倍音とアナログ感に満ち溢れた音質は、Pumping & Breathing な強烈リミッターサウンドから、独特な存在感をトラックに付加する自然なゲインリダクションまで LIMIT/COMP の 2 モードにて自在に演出します。究極のアナログ質感を、フル Bit デジタルで D.A.W ヘトラッキングする・・・これ以上の贅沢はありません。

21 世紀のデジタル録音においてもあの名盤のビンテージ・サウンドを再現できます。

コントロールについて

・ GAIN REDUCTION METER

ゲインリダクション量を監視できるクラシック・タイプのアナログメーターです。



・ STREO LINK

このスイッチの切替により、ステレオリンクが可能です。2ch それぞれで設定する場合は MONO ポジションに設定してください。ステレオリンクする場合は Release タイムの設定は両チャンネル同じに設定します。



• IN / OUT

このスイッチの切替により、コンプレッサー/リミッターのエフェクトをオン/オフ（ハードウェアバイパス）することが可能です。

• COMP / LIMIT

このスイッチの切替により、主にアタックタイムが切り換えられ（以下参照）たいへんクラッシュクな質感の Pumping/Breathing サウンドを持つ Limiter 動作と、幅広いサウンドメイキングが可能な Compressor 動作を切替可能です。Hold と Recovery のセッティングとこのスイッチの組合せにより、トラッキング、ミキシング、効果的なエフェクトまで、自在の音質をコントロール可能となります。

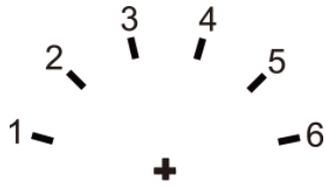
LIMIT モード= 8ms のアタックタイムに設定されます

COMP モード=47ms のアタックタイムに設定されます

• HOLD

Input Gain と Threshold を同時にコントロールする 1176 タイプのコントローラーです。このノブを最小にセットすると音は出力されません。

・ RECOVERY



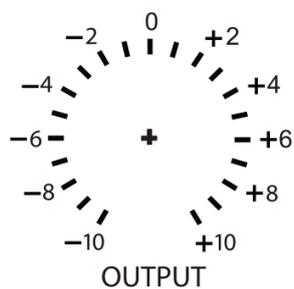
RECOVERY

リリースタイムをコントロールします。COMP/LIMIT のモード切替により 6 ポジションでコントロールされます。

LIMIT モード=0.05、0.1、0.25、0.5、1、2sec

COMP モード=0.25、0.5、1.20、2.5、5、10 sec

・ OUTPUT / GAIN MAKE UP



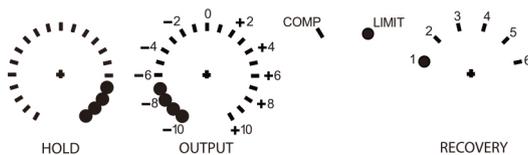
21 ポジションのアウトプット・ゲイン・コントローラーです。この 21 ポジションのコントロールは音質ロスのない<ステップゲイン方式>を採用しており、1dB ステップで±10dB で最終ゲインメイクアップを調整可能です。ステップゲインでの調整はリコールが把握しやすい為、再現性に優れています。

CHANDLER LIMITED®

サウンドメイキングについて

★Vintage Limiting

TG1 はレコーディング・トラックに、クラシックなビンテージ・トップ・リミッティング・サウンドを簡単に加えることが可能です。LIMIT モードで INPUT と HOLD を増加させていき、OUTPUT で希望のメイクアップゲインに設定するだけです。RECOVERY を #1 ポジション（最も速いリカバリータイム設定）にセットすれば、あのオーガニックなビンテージ・リミッティング（Fairchild 670 のように滑らかで少しクレイジーな・・・）サウンドを簡単に再現できます。



★EQ the Limiter

TG1 に 1073 や Pultec EQ タイプのような素晴らしい EQ の周波数ブーストを加えると、そのサウンドは更に興味深いものとなります。例えば 5kHz をボーカルに、5kHz と 50Hz をドラムスに・・・このサウンドはまさにあの『Sgt. Pepper's ~』のビートルズサウンドを思い起こさずにはいられないでしょう。

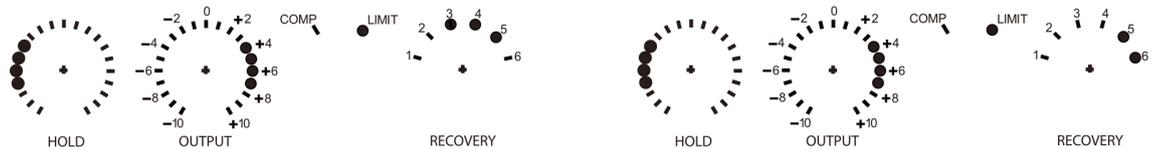
★General Limit Setting

より一般的なセッティングには HOLD を下げ気味にセットアップします。Recovery を #2-6 に設定して、HOLD を高めに設定しましょう。Compressor 設定でも Limit 設定でもうまく動作します。



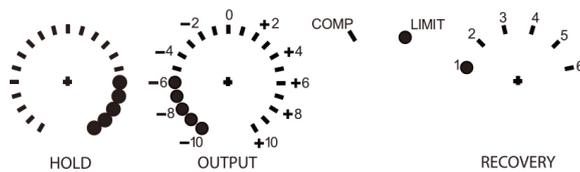
★Getting Less Limit

低めのHOLD設定で必要以上にリミッティングが得られてしまう場合にはRECOVERYタイムをより遅くしてみましょう。Recovery #3-6 くらいの設定が効果的です。



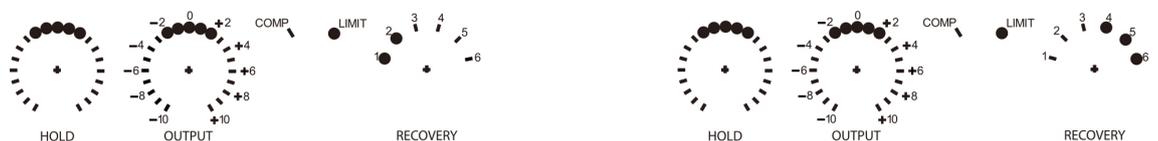
★Drum Room Mics

多くのエンジニアがTG1のフェイバリットサウンドにあげるのがドラムサウンドのルームマイクへのリミッティングです。INPUTをクランクアップしてRECOVERYを速めの設定に、ハードに潰すサウンドにすることでトラックが輝きます。



★Eddie Kramer Trick

エディ・クレマーは2つのチャンネルをシリーズ接続して使用するトリックを多用しています。初段のリミット設定は速いRecoveryタイムに、後段のコンプ設定は遅めのRecoveryタイムに設定します。HOLDを希望のリダクションが得られるまで調整します。



★Michael Brauer Buss Mixing

マイケルは BUSS を使ってトラックをリミッターに送っています。他のコンソールのフェーダーにはコンプレッサーの掛かっていないサウンドを調整してトラックを魅力的なサウンドに仕上げています。ドラムやベースに一体感を与える事が出来るセッティングです。



TG1 コネクション

XLR キャンオン・タイプ 入力 × 2

XLR キャンオン・タイプ 出力 × 2

(全てのコネクションは 2 番ホットです MIC / DI 切替スイッチ)

マイク入力とフロントの DI 入力を切替します

パワーサプライは別売の PSU-1 を使用します。

